



令和6年 新年祝賀会を開催



城下町新発田会（小野悦男会長）では、1月14日（日）に、東天紅上野本店で新年祝賀会を開催しました。当日は、来賓として新発田市から伊藤純一副市長、宮崎光夫市議会議員長、太田貴輝市民まちづくり支援課長、東京新潟県人会からは鈴木輝雄副会長、関西新潟県人会からは小谷野達雄会長、そしてしばた豊浦会の高山博司会長を迎え、総勢38名が参加しました。

小野会長は、冒頭に震災で被害に遭われた方々へのお見舞いと逝去された方へのお悔やみを述べ、復興への協力を呼びかけました。そして、今年の抱負として①新発田市との連携を強化し、地域貢献に努める。具体的な行動として、新発田市のものを「使う、食べる、飲む」の心掛けへの参加を求めました。また、②新規会員の加入促進を図る。③会員相互の連携と親睦の強化充実を目指す。との方針を示し、会員に協力を求めました。

新発田市の二階堂市長は、メッセージの中で元日の能登半島地震に触れ「日々入ってくる県内外の甚大な被害を目の当たりにし、毎日心を痛めております。同じエリアに住む者として、精一杯、近隣の友をサポートしてまいりたい」との決意を述べられました。また、「暮（ばく）」を今年のことばとして、「己を信じてまっすぐ突き進む」との姿勢を示すとともに、「龍が天に昇るように」飛躍の年となるよう祈念し、祝辞とされました。

なお会場では、恒例の笹だんごなどの地元からのお取り寄せ販売が行われました。そして懇親会では、歌手・美月優さんの歌謡ショーや抽選会などで最高潮。最後は全員で新発田市歌「虹の橋をわたって」と「ふるさと」を歌い、盛会のうちに終了しました。



伊藤純一副市長を囲んで

近況報告

(新年会出欠はがきより)

伊藤祐二さん (中川)

いつもお世話になりありがとうございます。古希になりましたが、まだまだ床屋を現役で元気にやっております。

伊藤喜行さん (新発田市住田に在住)

本会の益々のご発展をふるさとよりご祈念申し上げます。

小野英子さん (材木町)

出たり入ったりで皆様大変ご迷惑をかけてしまいました。新発田会をはなれるととっても寂しくなり、体調の良い時は参加させていただきます。よろしくお願ひします。

小林篤市さん (中央町)

会報あやめを送付いただきありがとうございます。両親の墓管理(託明寺)を新潟市在住の妹に託しているため、ここ数年帰っていません。懐かしく拝読いたしました。

小林祐子さん (石喜)

なかなか出席できず失礼しております。皆様のご健康・ご活躍をお祈りいたします。

近藤文夫さん (宮古木)

何かとボランティア活動で忙しい毎日です。久々にみなさんにお逢いしたいのですが、都合が悪く出席できません。

齋藤隆さん (城北町)

日に日に身体が劣化してマス！ラストチャンスと思い、出ていきます。よろしく!!

齋藤常夫さん (岡屋敷)

まだ92歳ですが、全てのパーツが元気です。お世話になります。

佐藤徹さん (八軒町)

「蔵春閣」行って来ました。おとなりの公園では、赤ちゃんの“泣きずもう”しておりました。楽しい一日、ありがとうございました。

佐藤泰彦さん (新発田市大手町に在住)

96才高齢につき上京不可。新発田ミュージアム設立推進市民会議の代表を務めております。ご協力ください。

杉原真さん (上赤谷)

身体能力の退化が自身の想定より進み、遠出・長時間の外出が難儀となりました。永年お世話になりました新発田会もこの度退会致します。ありがとうございました。

田村静子さん (大槻)

こんにちは、参加できなくて残念ですが、病気の為、欠席させていただきます。

藤間栄三さん (下高関)

体調不良の為、欠席させていただきます。

中島範子さん (新道)

嬉しいお知らせです。皆様にお会いできますこと待ち遠しいです。小春日和の佳き日が訪れるよう願っています。

西野ヤス子さん (早道場)

今回は他の予定と重なり、欠席しますのですみません。

長谷川敏文さん (諏訪町)

6月に愛知に転勤となり、半年が過ぎました。

福田秀二さん (館野小路)

現役で頑張っています。

前島栄吉さん (菅谷)

今のところ大きな変化もなく歳を重ねています。

松田十郎さん (三之町)

コロナの更なる鎮静を願いつつ…(出席増を期待!!)

益子政子さん (上内竹)

11/23に主人が亡くなり、七海の姉に励まされて、参加する事にしました。

山崎伸雄さん (御幸町)

いつもお世話いただきありがとうございます。御座います。来年は米寿、それを目指して元気で過ごしたいと思っております。会員の皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

山本知子さん (中央町)

何時もお世話になり有難うご座います。出席できず残念に思っております。城下町新発田会の益々のご発展を願っております。

(五十音順、できる限り原文を尊重しました)

新発田郷土研究会に参加しませんか

新発田郷土研究会は、昭和 47 (1972) 年に発足し、令和 6 年度に 52 年目を迎えます。現在の会員は 140 余名。「新発田市及び周辺の考古・歴史・文化財等の調査研究や、これらに興味・関心を有する者をもって構成」されていますが、真剣な調査研究に加えて「興味・関心を有する人」もいっしょになって幅広く活動をしています。

活動内容としては、会員も含めた講師による「記念講演会」、「史跡見学会」、調査研究の発表会である「新発田郷土史講座」のなど多岐にわたり、その活動の記録として毎年発行している機関誌「新発田郷土史」は、令和 4 年で第 50 号を数えています。

熱心な研修はもとより、会員相互の和気あいあいとした交流も魅力です。活動の拠点は新発田市が中心となりますが、関心のある方は参加して生き生きライフを楽しんでみませんか？

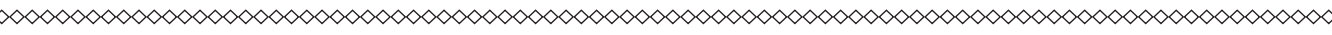


皆木邦夫会長

詳細や入会等は、ホームページ [新発田郷土研究会](#) で検索



郷土史講座・山浦健夫講師 (2月3日、新発田市生涯学習センター)



手づくりの藍染め小物や
手描きローケツ染めインテリア商品を
真心こめてお作りします

染色工芸藍染
泉屋染物店

〒957-0052
新潟県新発田市大手町1-7-2
電話 0254 (22) 3216
FAX 0254 (22) 1026
HP <http://izumiya-aisome.com/>

No.5 農事組合法人二王子

品目
メロン、チンゲン菜

住所
〒957-0347
大字大友3836

TEL
(0254)25-3488 (事務所) メロン……10月中旬~2週間
(0254)25-2285 (代表者宅) チンゲン菜…1月下旬~2月下旬

その他 **贈答可用**

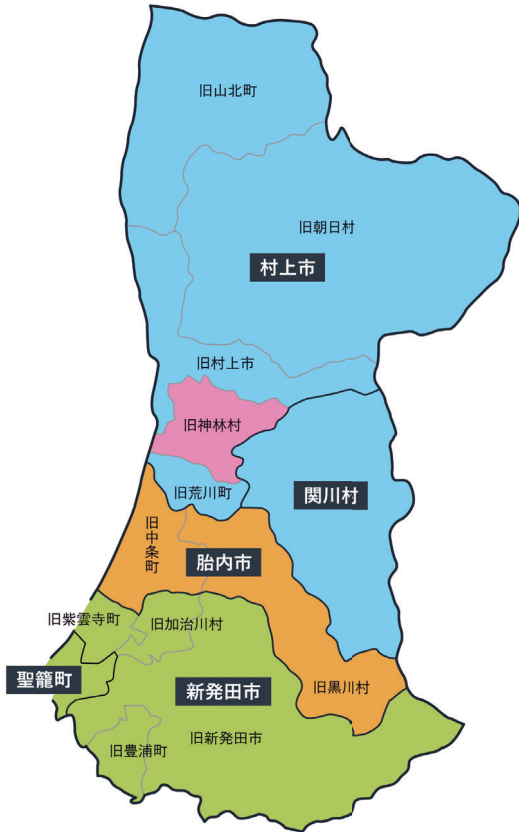
道の駅 加治川
MICHINO EKI KAJIKAWA

道の駅加治川
駅長 五月女奈緒美
〒959-2411 新発田市横岡 1147
TEL.0254-20-7393

北新潟農業協同組合（JA北新潟）が発足

城下町新発田会の賛助会員である「北越後農協」は、「にいがた岩船農協」「かみはやし農協」「胎内市農協」と合併し、令和6年3月1日をもって「北新潟農業協同組合（JA北新潟）」となります。新発田市から北へ山形県境までの広大なエリアとなります。

目的は、①農業者の所得増大②農業生産の拡大③地域の活性化。県北の地域特性を活かした農業と地域社会の発展が、期待されています。



JA北新潟のエリア

令和5年産米 **北新潟米**

コシヒカリ

ご親戚や親しい方へ
米どころ北越後の
特別栽培米を贈りませんか



代金引換価格

① 5kg (5kg×1)	¥4,060
② 10kg (5kg×2)	¥6,730
③ 15kg (5kg×3)	¥9,380
④ 20kg (5kg×4)	¥12,140
⑤ お米食べ比べセット (コシヒカリ・こしいぶき・新之助 各2kg)	¥5,410

※関東・北陸・信越・中部地区以外への発送は別途地域割増料金をいただきます
※お振込によるお支払いの場合は金額が異なりますので下記までお問合せ下さい

お申込・お問合せは

JA北新潟農産物直売所 **こったま〜や**

〒957-0011 新潟県新発田市島潟 1341-1

ご注文フリーダイヤル **0120-121-390** オンラインショップでも
インターネットでのご注文 <http://shop.ja-kitaechigo.jp> ご注文を承ります！

【FAX】0254-22-0717

【営業時間】10:00～16:00

【定休日】第2・第4火曜日



くだもの生産直売
ぶどう、りんご、西洋梨、桃
果実加工

新潟県認定1028号

高橋農園

〒959-2506
新潟県新発田市横山149番地
直売所FAX兼用 0254-29-2287
E-mail kenta@muse.ocn.ne.jp

果物の地方発送
西洋梨レクテエの贈答

JA北新潟
農産物直売所

お米は
美味しい
JA北新潟で

JA北新潟農産物直売所

営業時間 9:00～18:00 定休日/火曜日
冬季営業時間(12月～3月)/10:00～17:30
<http://shop.ja-kitaechigo.jp/>
JA北越後オンラインショップ 検索

土地・建物・売買・仲介
千葉県知事免許(13)第5435号

三光建設株式会社

代表取締役 松川 吉男

TEL: 047-396-0161(代)
FAX: 047-396-0162
千葉県市川市富浜 1-6-20

結納、ご法事各種ご宴会・パーティにご利用下さい

〒957-0057 新発田市御幸町1丁目1の1

利志志まや

電話 (0254) 22-2102(代)
FAX (0254) 26-3430

ごままんじゅう◆くるみがんじき

手づくりの白い肌にも風味豊かなごまの香りの「ごままんじゅう」。
もち、ごま、こしあんの素朴な味をお楽しみ下さい。
「くるみがんじき」はくるみを水飴でつなぎ、海苔で巻いたお菓子。
加賀の食文化が新発田に入り、今では、地域に根ざした郷土菓子のひとつとなりました。

有限会社 和泉屋

〒957-0053 新発田市中央町2-1-17
TEL. (0254) 22-3289 FAX. (0254) 22-3900
〈営〉9:00～18:30 〈休〉元日
※売り切れ次第、閉店17:00とさせていただきます。

国際認証取得圃場で栽培された「越後菅谷産」の安心・安全なお米を生産・販売いたします

農地所有適格法人
有限会社 アグリ・システム

〒959-2517 新潟県新発田市麓 691 番地
TEL: 0254-29-2500 FAX: 0254-29-2131

TOPICS トピックス

東京新潟県人会 華やかに新年会



東京新潟県人会（小林保廣会長）の新年祝賀会が、1月27日（日）にホテル椿山荘東京で開催されました。当日は、花角英世新潟県知事をはじめ、新潟県選出の国会議員や各市町村長を来賓に招き、総数564名が出席し盛大に執り行われました。

懇親会では、冒頭に新潟市出身の小林幸子さんがサプライズで登場。名曲「雪椿」を熱唱し花を添えました。この曲の3番目「辛くともがまんをすれば いつか来ますよ 春の日は・・・」の歌詞に中越地震の際被災者が「勇気づけられた」とのエピソードに触れ、能登半島地震を思いやりました。多数のアトラクションの最後は、恒例の佐渡おけさを全員で踊り、盛会のうちに終了しました。

関西新潟県人会総会・懇親会に招待

関西新潟県人会（小谷野達雄会長・五十公野出身）は、11月23日（木・祝）に大阪市内のホテルにおいて、第59回の総会・懇親会を開催いたしました。当日は会員及び来賓約90名が出席。来賓には二階堂馨新発田市長、太田貴輝市民まちづくり支援課長も名を連ねました。城下町新発田会からも小野会長が招待を受け、出席しました。

総会では、今後2年の任期を担う役員選任において、小谷野会長が再任されました。

来賓挨拶の中で二階堂市長は、「郷土の先輩である小谷野会長のお誘いを受け初めて参加させていただきました。どうかふるさと新潟に関心を寄せてください。ふるさとを愛していただきたい」と語りかけました。

懇親会は、恒例の祝相撲甚句で幕を開け、歌やフラダンスなどの余興、福引き等があり、最後は佐渡おけさを全員で踊り、来年第60回での再会を誓い合い、盛会のうちにお開きとなりました。



王紋酒造

本社：新発田市本町 1-7-5
TEL.0254-22-2350/FAX0254-23-6233

江戸屋餅菓子舗

店：新潟県新発田市中央町3-8-9
Tel 0254-22-3942
定休日：火曜日 営業時間：9:30-18:00
工場：新潟県北蒲原郡聖籠町連湯 3397-1
Tel 0254-27-3390 Fax 0254-27-3356

大切な方への贈り物にはお米を！

産地直送でお米・新潟県産コシヒカリのお取り寄せならおの米店へ

おの米店 0254-25-2434
090-5197-8067
美味しいお米を販売 8:00 ~ 21:00

TOPICS トピックス

表参道・ネスパスが閉館



新潟県のアンテナショップである「表参道・新潟館ネスパス」が、12月25日で26年に及ぶ営業を終了しました。

同館は、平成9年にオープンし、米や日本酒などの県の物産の販売や飲食、県内企業の求人情報や観光情報の提供などでにぎわいを見せ、これまでにのべ1600万人あまりが訪れました。しかしながら、入居しているビルが老朽化により取り壊されることから、閉館となりました。当日は、閉館を惜しむ多くの来客でにぎわい、新発田からもJ A北越後のみなさんが上京し、来場者1000人にチューリップの切り花を配布しました。

なお、令和6年5月末には、新潟県の新たな情報発信拠点として「銀座・新潟情報館 THE NIIGATA」が銀座鈴らん通りにオープンすることが決まっています。



「えびな市民まつり」に新発田市のブースが出店



多くの来場でにぎわった新発田ブース

新発田市と災害協定を結ぶ神奈川県海老名市が主催する「えびな市民まつり」が、11月19日（日）に海老名運動公園で開催され、新発田市からも職員が出向き、設けたブースで、新発田牛の牛串や地酒、農産物などを販売しました。当日は晴天に恵まれ、過去最多の15万5千人の人出で大盛況。城下町新発田会からも小野会長が激励に駆けつけました。

なお、両市の協定（令和3年11月）のきっかけは、新発田市（旧加治川村）出身で海老名市在住の大坂城二元市議会議員（故人）が、鎌倉時代に新発田地域・加治庄の地頭に任ぜられた佐々木盛綱が、少年期から20年渋谷庄（海老名・高座地域）で育った史実をもとに、両市に締結を働きかけたことによります。

編集後記

本年は、元日から「能登半島地震」という波乱の年明けとなりました。新潟県も被害を受けていますが、能登地方の被害は甚大です。募金などのご協力をお願いいたします。

御徒町の駅前にビルを構える株式会社吉池（高橋登社長・新潟県山之山町出身）は、総合スーパーです。地下の食品や酒類のコーナーでは、新潟県の物産を豊富に取り揃えています。東京で唯一「新発田牛」が買える精肉コーナーも魅力です。また最上階の「吉池食堂」は、和・洋・寿司が楽しめる自由な食空間です。ぜひ一度ご来店を！

